

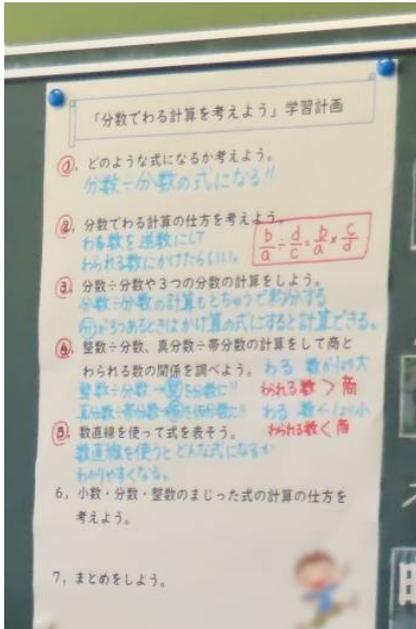
学力向上に効果のある取組事例

中津市立山口小学校

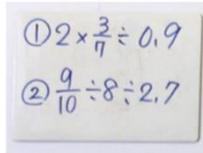
④ 「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

A: 「山口小」スタイルの確立

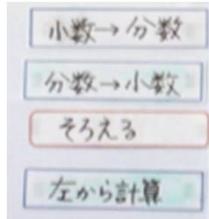
① 単元計画の可視化
授業の前に掲示。教師と児童で見直しを持つ。



② 授業の導入時に
既習事項の確認
本時につながる既習事項を
短時間で復習。



③ キーワードの掲示
大切なキーワードを板書し
授業を行う。



④ 検証問題・振り返りまで 行うタイムマネジメント

45分の流れ

<授業開始(チャイム)>
前時のふりかえり(まとめや既習事項の確認など)
めあての確認

問題の提示(わかっていること、たずねられていることの確認)
既習事項との違いなどから、

結果問題設定(教師or子ども)・・・
<<< ここまで5分をめざす >>>

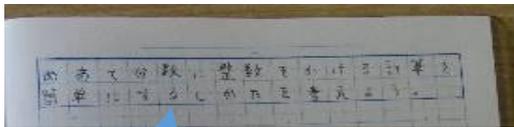
見直し(課題解決の見直しを持たせる)発表、ペアなど
グーバーチェック(見通しが持てたかを確認)見通しが持てない子どもへのフォロー
一人学び(各自でノートに表す)
※わからなくなったら…「さんこうタイム」(聞きに行く、教えに行く)
ペア・グループ(各自の考えを伝え合い、考えを練りあう)
全体交流(グループでの話し合いを交流する。)

考察(課題に立ち返り、キーワードを中心にまとめの材料を確認する)

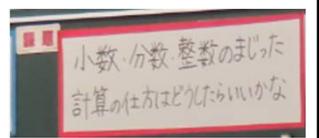
まとめ(課題に対応したまとめを、考察を参考に各自行う)
※まとめの交流

B: 「デザイン化」された板書

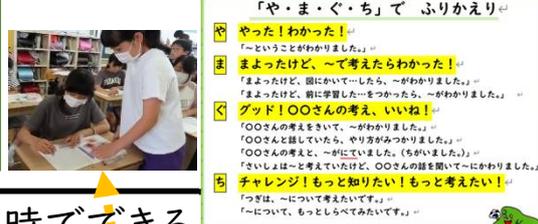
① 【授業前】「めあてシート」「課題シート」「まとめシート」は掲示しておく。
児童は、単元計画をもとに、「めあて」をノートに書いておく。



① 【授業中】課題は、学年の発達
段階の応じて、子どもたちの言葉
で提示。



② 【授業中】
まとめは課題と対応したものに。
まとめの書き出しは、課題の書き出しと同じに。



③ 【授業中または授業後】ふりかえりは、めあてにもどり、本時でできる
ようになったことや、わかったことなどを書く。キーワードも活用。協働的な活動も行う。